

中山間 地域らしい 福祉を考える

2019年
3月8日(金)
午前9時30分～午後5時

—暮らしに森をとりもどす— 入場無料
申込不要

会場：鳥取大学広報センター1階CDL（コミュニティ・デザイン・ラボ）
鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101

趣旨説明

- ・暮らしに森をとりもどす -「生業・生活統合型多世代共創コミュニティモデルの開発」プロジェクトから
家中茂(鳥取大学地域学部教授)
- ・地域に自治をとりもどす -介護保険事業計画策定に取り組むことの意義
服部真治(鳥取大学地域学部特任教員
／医療経済研究・社会保険福祉協会医療経済研究機構 研究部研究員兼研究総務部次長)

研究報告

■第1部 暮らしに福祉を根づかせる

(1) 智頭町における取り組み

- ・智頭町における介護保険計画及び介護予防の取り組み / 芦谷健吾(智頭町福祉課副主幹)
- ・93%が森のまちで暮らし続けるということ / 國岡将平(智頭町生活支援コーディネーター／智頭ノ森ノ学ビ舎事務局長)
- ・2つの報告をうけて / 服部真治

(2) 八頭町における取り組み

- ・八頭町における地域共生社会の実現に向けた取り組み / 竹川俊夫(鳥取大学地域学部准教授)

■第2部 森の福祉力をひきだす

(1) 介護予防の視点から

- ・農林業への関わりと助け合い活動への参加意識の関係 / 服部真治
- ・農林業への関りと高齢者の健康との関連性 / 市田行信(鳥取大学地域学部特任教員／政策基礎研究所代表)

(2) 子育て支援の視点から

- ・鳥取県内における自然保育認証制度の成立プロセス / 東根ちよ(鳥取大学地域学部講師)

全体討論

コメンテーター：竹本匡吾(社会福祉法人 地域でくらす会「いくのさん家」担当)

